

第7回ソーシャルファームジャパンサミット in 東京

特定非営利活動法人 コミュニティシンクタンクあうるず
〒080-0802 北海道帯広市東2条南4丁目10番地

助成事業の概要

ソーシャルファームジャパン in 東京ということで、第7回のソーシャルファームジャパンサミットを Zoom を使用し、オンラインで実施した。内容は以下のとおりである。

■セッション I 「ソーシャルファームジャパンの今後の活動の在り方」

講師：炭谷茂氏（ソーシャルファームジャパン理事長／社会福祉法人 恩賜財団 済生会 理事長）

■セッション II 「東京都のソーシャルファーム認証にあたって整理すべき論点」

講師：上野容子氏（東京家政大学名誉教授）
三嶋みちこ氏（NPO 法人全国精神保健職親会理事）

■セッション III 「東京都ソーシャルファーム条例の進捗状況と方向」

講師：森村隆行氏（東京都議会議員）

■セッション IV 「コロナ後のソーシャルファームの取り組み」

コーディネーター：菊池貞雄氏（NPO 法人 コミュニティシンクタンクあうるず／ソーシャルファームジャパン常任理事）
宮島慎吾氏（武蔵野美術大学名誉教授）

シンポジスト：川島光一朗氏（ニューフラワー）

宮嶋 望氏（共同学舎）

天野雄一郎氏（社会福祉法人白鳩会花の木農場）

上田浩司氏（社会福祉法人さつき会はまゆうワークセンター大野城統括管理者）

奥田佳成氏（農林中央金庫 札幌支店）

池田 円氏（NTT ダイバーシティ推進室）

萩原 富三郎氏（株式会社 良品計画）

事業の成果

東京でソーシャルファームの認証が始まるということで、早稲田大学大隈小講堂を会場として、ソーシャルファームジャパンの第7回目のサミットを開催することとなっていたが、新型コロナウイルスの感染拡大による2回目の緊急事態宣言の発出となり、開催2日前にフルリモートでの開催を決定し、変更を参加者に伝達することとなった。事前に急な変更もあり得ることを周知していたこともあり、大きな混乱もなく、開催することができた。

炭谷理事長からは、これまでの歴史的な経過、各国での展開など、ソーシャルファームの基本的な事柄に関する教示があり、今後の課題が示された。セッション II の上野理事、三嶋氏からは、社会福祉法人、企業とそれぞれの立場からの東京都のソーシャルファーム条例に対する期待が語られた。

セッション III では、都議会議員の森村先生をお招きし、東京都のソーシャルファーム条例に関する詳しい説明をお聞きした。

セッション IV では、各地で活躍する団体、企業の皆さんからの報告があり、コロナ禍における現状

と今後の展望をどう切り拓くかといった現場の声が届けられた。

すべてがリモートでの講義となったが、Zoom対応をしてくれる要員の確保をしていたこともあり、約100名の参加者からは好評を得ることができた。

参加者間の交流という点では例年のような成果を得ることはできなかったが、各地のコロナウィルスの影響などに関しても生の声をきくことができたことについての感想も多く寄せられ、ソーシャルファームの理念を共有する仲間として、現状を共有しつつ、今後の活動を展開していくことへの展望を見出すことができた。

なった。

今後も社会的企業として良質な製品・サービスを提供し、市民が身近に感じられる「ソーシャルファーム」の拡大を目指し、ソーシャルファームジャパンサミットの開催を継続していく予定である。

成果の広報・公表

今回のサミットの資料や、参加者の感想などをまとめた報告集を作成した。報告集のPDFを東京の実行委員会事務局である社会福祉法人豊芯会のホームページやソーシャルファームジャパンのFacebookなどで公表し、活用してもらう。

今後の展開

ソーシャルファームジャパンは2008年の設立以来、ニート、引きこもり、障害者、刑務所出所者、難病患者など多様な雇用弱者のソーシャルインクルージョンを目的として活動を始めたが、その後障害者にたいする各制度が制定され就労支援の形態が変化している。

当初はソーシャルファーム概念の普及をめざし、都内で勉強会・総会、北海道や各地で勉強会を行ってきた。2013年からは、全国普及活動として「ソーシャルファームジャパンサミット」を開催。北海道、滋賀、栃木、神奈川、大阪、鹿児島と全国を縦断してきた。今年度はソーシャルファーム条例が施行されたということで、東京での開催と